

ミクロ経済学 II 講義要綱

私たちの経済は自然資源、労働力、資本財など、さまざまな資源に恵まれている。私たちはそれを利用して日々の生活に必要なものを調達している。そこで、与えられた資源とそれを利用して生産された生産物がどのようにさまざまな用途に配分されるか、またどのような配分が社会にとって望ましいかという問題が生じる。そのような問題を経済の「資源配分問題」という。

ミクロ経済学の中心問題は、この資源配分問題である。「ミクロ経済学 I」では、外部効果のない完全競争市場の均衡で定まる資源配分が、効率的な資源配分であることを学んだ。「ミクロ経済学 II」では、市場経済で効率的な資源配分が妨げられるさまざまな障害と、それを取り除くための政策、制度について考える。

概 要

- I. 不完全競争市場
- II. 市場の失敗
- III. ゲームの理論
- IV. 不確実性とリスク

教科書

伊藤元重（2003）『ミクロ経済学』第 2 版。東京：岩波書店。

予 定 表

- 1. ミクロ経済学 II の課題
- 2. 供給独占の利潤最大化
- 3. 死加重の発生
- 4. 寡占市場
- 5. ゲームの理論
- 6. 外部効果
- 7. 公共財
- 8. 費用逓減産業
- 9. 危険回避
- 10. 危険に対応するためのさまざまな仕組
- 11. 情報の非対称性
- 12. 市場の効率性とその限界